

# 漁況予報 いわし

## 第163号

2011年1～2月漁期  
(2011年1月17日発行)

### ＝ 概況 ＝

#### 【マイワシ】

主要定置網における11月のマイワシ総漁獲量は14トンと、前年(21トン)および平年(32トン)を下回りました。続く12月の総漁獲量は99トン(速報値)と、好漁だった前年並み(91トン)で、平年(24トン)を大きく上回りました。これは12月中旬に、西湘地域の定置網に大羽マイワシ主体(未測定)の群が集中的に入網したためです。

佐島地区のまき網は、11、12月とも大羽マイワシ主体の漁獲が継続しました。魚体は体長18～22cmで、1歳魚(2009年級群)および2歳魚(2008年級群)が主体と考えられます。

2010年の神奈川県におけるマイワシ総漁獲量は、主要定置網が505トン、まき網が2,901トンの合計3,406トンで、好漁だった前年(1,686トン)および平年(1,014トン)を大きく上回りました。まき網の漁獲主対象となったマイワシ2008・2009年級群は、ともに近年では資源水準が高いと推定されており、このことが湾内への来遊量の増加につながったと考えられます。一方、夏季以降に定置網の漁獲主対象となる0歳魚(2010年級群)は、本県沿岸での漁獲は極めて少なかったものの、沖合域の資源豊度は2008・2009年級群以上に高いと考えられており、今後小羽～中羽マイワシとして来遊することが期待されます。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は11月が0.1トン、12月が15トン(速報値)で、両月ともに前年(11月1トン、12月160トン)および平年(11月6トン、12月51トン)を大きく下回りました。

魚体は、6～8cmの未成魚が主体でしたが、12月下旬には西湘地区の定置網で成魚サイズ主体(未測定)の漁獲が認められました。

佐島地区のまき網は、10月に引き続きまとまった漁獲がありませんでした。

2010年の神奈川県におけるカタクチイワシ総漁獲量は主要定置網が2,963トン、まき網が238トンの合計3,201トンで、前年(3,908トン)および平年(4,219トン)を下回りました。特に夏季以降に漁獲主体となる0歳魚(2010年級群)は、湾内の定置網、まき網とも極めて低調な漁獲でした。太平洋のカタクチイワシ2010年級群の資源豊度は、現在のところ低～中水準といわれており、今後1歳魚としての来遊もあまり期待できないかもしれません。

#### 【シラス】

相模湾のシラス船びき網による11、12月のシラス漁獲量(標本船データより推定)は、例年どおり徐々に漁模様が低下して終漁を迎えました。湾東部の漁場では、12月下旬の暖水波及に伴い漁が好転しましたが、荒天が続いてあまり出漁できなかったこともあり、全体的にはあまり漁獲量が延びませんでした。

2010年のシラス総漁獲量は535トン(標本船データからの推定値)で、好漁だった前年には及ばなかったものの、平年並みの漁獲量でした(前年比0.8倍、平年比1.0倍)。解禁直後の3月は、前年同様湾内の水温が低く全域でまとまった漁獲がなく、本格的な漁は4月に入ってから認められました。4月以降は、低調だった6月と9月を除き、平年並みか平年をやや上回る漁獲量で推移しました。

### ＝ 予報 ＝

#### 【マイワシ】

今漁期は、1歳魚の小羽～中羽マイワシ(体長12～16cm)および2歳以上の大羽マイワシ(同18cm以上)が漁獲されるでしょう。

今漁期の漁獲量は、マイワシ太平洋系群の資源量から、約660トンと予測されます。

\* グラフ縦軸：主要定置網+まき網

#### 【カタクチイワシ】

今漁期は、小型成魚(体長10～11cm台)および大型成魚(同12cm以上)が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、11～12月の県内主要定置網の漁獲量から、約130トンと予測されます。

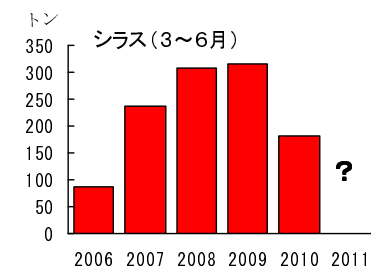
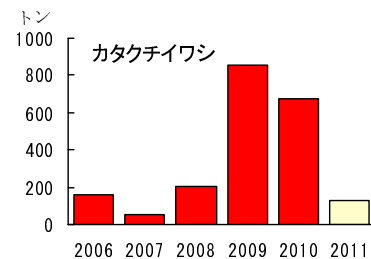
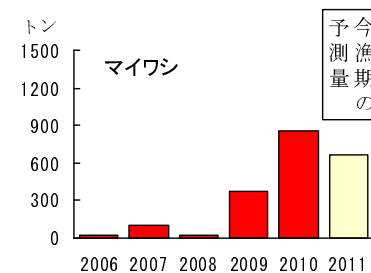
\* グラフ縦軸：主要定置網+まき網

#### 【シラス】

神奈川県のしらす漁は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当センターでは解禁後の漁況予測のため、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年も1～3月に禁漁期調査を実施します。

調査の状況については、次号で報告する予定です。

過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



神奈川県水産技術センター資源環境部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313